

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】<http://japan.renesas.com/inquiry>

お客様各位

ZUD-CD-06-0109 (1/5)

2006年6月1日

NECエレクトロニクス株式会社

第四システム事業本部

汎用マイコンシステム事業部

開発ツールグループ

グループマネージャー 西林 浩司

(担当：鈴木 康之)

CP(K),0

QB-78K0FX2 (管理記号 A, B)

使用上の注意

ご使用前に必ずお読みください

1.	製品バージョン	2
2.	製品履歴	3
3.	不具合および仕様変更事項詳細	3
4.	注意事項	4
5.	改版履歴	5

QB-78K0FX2 使用上の注意

本文書はエミュレータのみが該当する制限事項、およびエミュレータで修正予定のある制限事項を記載しています。

対象デバイスの制限事項については下記文書に記載されておりますので、あわせてお読みください。

- ・対象デバイスのユーザズ・マニュアル
- ・対象デバイスの制限事項文書

また、エミュレータの注意事項についてはエミュレータのユーザズ・マニュアルに記載されております。

こちらもお合わせてお読みください。

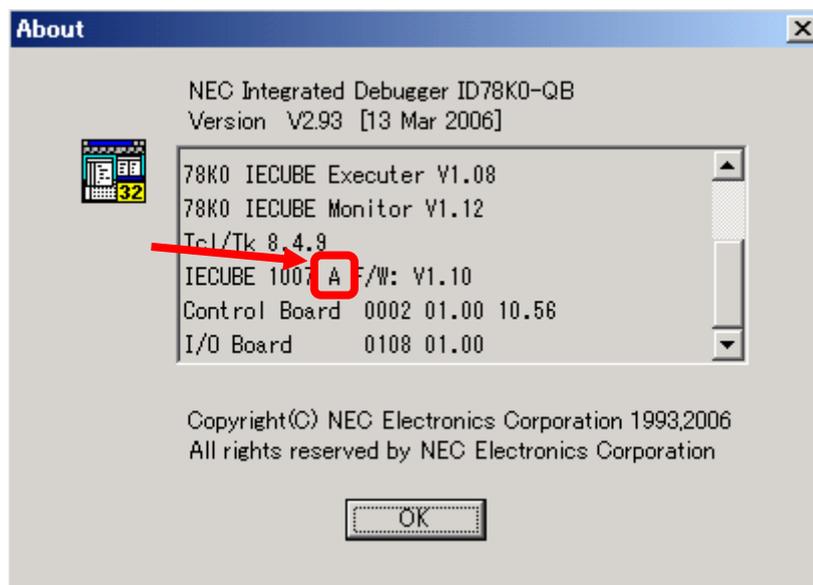
1. 製品バージョン

管理記号 ^注	備考
A	—
B	—

注) 管理記号は、10桁の製造番号（シリアル No.）の左から2桁目に表示されています。

バージョンアップを行っている場合は、統合デバッガ ID78K0-QB の動作時に [ヘルプ]→[バージョン情報] で表示します。

IECUBE **** X F/W:V*.** の X が管理記号です。



2. 製品履歴

項番	仕様変更・追加／不具合事項	管理記号	
		A	B
No. 1	パワーオン・クリア (POC) 機能の制限事項	恒久的な制限事項	
No. 2	プログラム実行中の内部 ROM 領域書き換わり不具合	×	○

×：該当する ○：該当しない、または修正済み

3. 不具合および仕様変更事項詳細

No.1 パワーオン・クリア (POC) 機能の制限事項

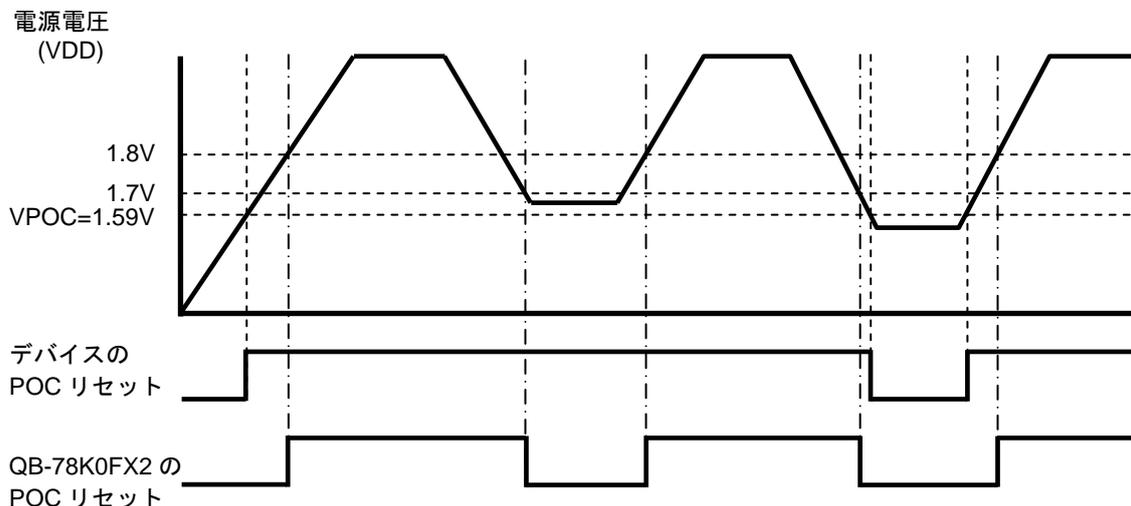
【内容】QB-78K0FX2 とデバイスとは POC 検出電圧が異なります。

- ・デバイス：電源投入時に内部リセットを発生し、電源電圧 (VDD) が検出電圧 ($V_{POC}=1.59V \pm 0.15V$) を越えたらリセットを解除します。

電源電圧 (VDD) と検出電圧 ($V_{POC}=1.59V \pm 0.15V$) を比較し、 $VDD < V_{POC}$ になったとき内部リセット信号を発生し、 $VDD \geq V_{POC}$ のときリセットを解除します。

- ・QB-78K0FX2：電源投入時に内部リセットを発生し、電源電圧 (VDD) が 1.80V を越えたらリセットを解除します。

$VDD < 1.70V$ になったとき内部リセット信号を発生し、 $VDD \geq 1.80V$ のときリセットを解除します。



【回避策】回避策はございません。恒久的な制限事項とさせていただきます。

No. 2 プログラム実行中の内部 ROM 領域書き換わり不具合

【内容】プログラム実行中にソース・ウインドウもしくは、逆アセンブル・ウインドウを開いていると内部 ROM の内容が書き換わることがあります。このため、発生しないはずのフェールセーフ・ブレーク (Write Protect Break や Non Map Break など) が発生します。

【回避策】回避策はございません。

管理記号 B 以降で修正されています。

4. 注意事項

No. 1 ブレーク時のターゲット・システム電圧について

ブレーク時にターゲット・システムの電圧を下げないようにしてください。ブレーク中に LVI, POC によるリセットが発生した場合、デバッガの不正動作や通信エラーの原因となることがあります。

No. 2 本製品の取り扱いに関する一般的な注意事項

a. 製品保証外となる場合

- ・本製品をお客様自身により分解、改造、修理した場合
- ・落下、倒れなど強い衝撃を与えた場合
- ・過電圧での使用、保証温度範囲外での使用、保証温度範囲外での保存
- ・AC アダプタ、インタフェース・ケーブル、ターゲット・システムとの接続が不十分な状態で電源を投入した場合
- ・AC アダプタのケーブル、インタフェース・ケーブル、エミュレーション・プローブなどに過度の曲げ、引っ張りを与えた場合
- ・添付品以外の AC アダプタを使用した場合
- ・本製品を濡らしてしまった場合
- ・本製品の GND とターゲット・システムの GND に電位差がある状態で本製品とターゲット・システムを接続した場合
- ・本製品の電源投入中にコネクタやケーブルの抜き差しを行った場合
- ・コネクタやソケットに過度の負荷を与えた場合

b. 安全上の注意

- ・長時間使用していると、高温 (50°C~60°C 程度) になることがあります。低温やけどなど、高温になることによる障害にご注意ください。
- ・感電には十分注意をしてください。上記の製品保証外となる場合に書かれているような使用方法をすると感電する恐れがあります。

5. 改版履歴

文書番号	発行日	記事
ZBG-BG-05-0015	2005/7/27	新規
ZUD-CD-06-0109	2006/6/1	不具合事項追加 (No. 2)